

News Release

HITACHI
Inspire the Next

2020年5月19日

株式会社日立製作所

株式会社日立ビルシステム

日立エレベーターアジア社

日立がシンガポール・住宅開発庁(HDB)住宅向けにエレベーター300台を受注

日立グループとしてシンガポールにおける過去最大級の昇降機受注



シンガポールのHDB住宅

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)と株式会社日立ビルシステム(取締役社長:光富 眞哉/以下、日立ビルシステム)は、このたび、シンガポール共和国(以下、シンガポール)の昇降機販売・サービス会社である Hitachi Elevator Asia Pte. Ltd.(社長:Victor Sia(ビクター・シア)/以下、日立エレベーターアジア社)を通じて、シンガポール・住宅開発庁(HDB*)住宅向けのエレベーター300台を受注しました。今回の受注はシンガポールにおける日立グループの昇降機の受注としては過去最大級となります。

日立エレベーターアジア社社長のビクター・シアは、「HDB住宅はシンガポールの8割以上の住民が暮らす公共住宅です。本開発の一翼を担い、今後何年にもわたり住民の皆さまにサービスをお届けできることをわれわれは誇りに思います」と述べています。

日立エレベーターアジア社(旧・日立エレベーターエンジニアリング(シンガポール)社)は、1972年の設立以来、チャンギ国際空港や、シンガポールで最も高いビルであるグオコタワー(旧・タンジョンパガーセンター)をはじめとする代表的な施設に多数の昇降機を納入し、アジアの昇降機業界をリードしてきました。2019年には、24時間365日、エレベーターの稼働データを遠隔でリアルタイムに収集し、機器の稼働状態を監視するとともに、データ分析結果をもとにした予防保全を実現する高度なエレベーター遠隔監視・保全サービスの提供を開始*2しました。

日立と日立ビルシステムは、今後も、IoTをはじめとする最先端のデジタル技術を、製品・サービスの開発に幅広く活用して、安全・安心・快適な昇降機や、都市空間におけるお客さまのさまざまな課題解決に貢献するサービスをグローバルに提供し、持続可能な社会の実現に貢献します。

*1 HDB:Housing & Development Board

*2 2019年9月26日付ニュースリリース「エレベーターの遠隔監視・保全サービスのグローバル展開を本格的に開始」

<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2019/09/0926.html>

■日立製作所について

日立は、OT(Operational Technology)、IT(Information Technology)およびプロダクトを組み合わせた社会イノベーション事業に注力しています。2018年度の連結売上収益は9兆4,806億円、2019年3月末時点の連結従業員数は約296,000人でした。日立は、モビリティ、ライフ、インダストリー、エネルギー、ITの5分野でLumadaを活用したデジタルソリューションを提供することにより、お客さまの社会価値、環境価値、経済価値の3つの価値向上に貢献します。

詳しくは、日立のウェブサイト(<https://www.hitachi.co.jp>)をご覧ください。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立ビルシステム カスタマーサポートセンター

電話:0120-7838-99(フリーダイヤル)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
